

# 木部

公共仕様No.  
DNT-改修・4-1-04

## 7章4節:合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) タイコーペイントフォースター

### 使用材料一覧表

| 規格<br>一般名称                      | 商品名            | ホルムアルデヒド<br>放散等級 | 希釈剤     |
|---------------------------------|----------------|------------------|---------|
| 1 JASS 18 M-304<br>木部下塗り用調合ペイント | タイコーペイント下塗     | F☆☆☆☆            | 塗料用シンナー |
| 2 JIS K 5516 1種<br>合成樹脂調合ペイント   | タイコーペイントフォースター | F☆☆☆☆            | 塗料用シンナー |

### 塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RB種】

| 工程         | 塗料その他 |             |    | 面の処理                             |
|------------|-------|-------------|----|----------------------------------|
|            | 規格番号  | 規格名称        | 種類 |                                  |
| 1 既存塗膜の除去  |       | —           |    | スクレーパー、研磨紙等により、劣化部分を全面除去し、活膜は残す。 |
| 2 汚れ、付着物除去 |       | —           |    | 木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。     |
| 3 研磨紙ざり    |       | 研磨紙P120~220 |    | 露出素地面、既存塗膜面を研磨する。                |

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。  
2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。  
3.ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

表7.4.1 木部合成樹脂調合ペイント塗り【B種】

| 工程             | 商品名                        | 色相 | 混合比率<br>(重量比) | 希釈率(%)<br>(重量比) | 塗装方法       | 塗付け量<br>(kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗装間隔<br>(20℃)   |
|----------------|----------------------------|----|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|-----------------|
| 1 下塗り<br>(1回目) | タイコーペイント<br>下塗             | 白  | —             | 5~10            | 刷毛         | 0.09                           | 12時間以上<br>1ヶ月以内 |
|                |                            |    |               | 10~20           | スプレー       |                                |                 |
| 2 パテかい         | JIS K 5669<br>合成樹脂エマルションパテ |    | 必要に応じて繰返し行う。  |                 |            |                                | 乾燥後             |
| 3 研磨紙ざり        |                            |    | 研磨紙P120~220   |                 |            |                                | 清掃後             |
| 4 中塗り          | タイコーペイント<br>フォースター         | 各色 | —             | 5~10            | 刷毛<br>ローラー | 0.09                           | 16時間以上<br>1ヶ月以内 |
|                |                            |    |               | 5~15            | スプレー       |                                |                 |
| 5 上塗り          | タイコーペイント<br>フォースター         | 各色 | —             | 5~10            | 刷毛<br>ローラー | 0.08                           | —               |
|                |                            |    |               | 5~15            | スプレー       |                                |                 |

(注) 1.下塗りは、塗料を素地によくなじませるように塗る。木口部分は、特に丁寧に塗る。  
2.下塗りの吸込みの着しい場合は、目止めをし、研磨紙ざりを行う。  
3.JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。

### 7.2.2 木部の下地調整

(a)木部の下地調整は、表7.2.1により、種別は、特記による。特記がなければRB種とする。

(b)透明塗料塗りの下地調整は、RB種による。ただし、既存塗膜は、全面除去する。

また、必要に応じて、表7.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。

(1)着色顔料を用いて着色兼用目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分な顔料をきれいにふき取る。

(2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。

(3)素地面に、仕上げに支障のおそれのある基だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

### 7.4.3 木部合成樹脂調合ペイント塗り

木部合成樹脂調合ペイント塗りは表7.4.1により、種別は、特記による。特記がなければ、次による。

(a)新規に塗る場合、外部はA種、内部はB種(多孔質広葉樹の場合を除く。)とする。

(b)塗替えの場合はB種とする。ただし、外部の場合は、工程2及び工程4は行わない。

### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。